

3 「新市建設計画」の策定について

新市の将来像を定める新市建設計画を策定し、平成16年12月24日に開催された第6回協議会において計画書の配布をしました。

4 事務事業「調整方針案」の策定

協議会下部組織の幹事会、専門部会、分科会において調整方針案を策定し、協議会に提案しました。

	延べ会議開催回数
幹事会	7回
専門部会	29回(8専門部会)
分科会	190回(27分科会)



5 協議会だよりの発行について

平成16年度中に5回発行しました。

6 ホームページの作成について

会議資料、会議結果、会議録、市町村データ等を広く住民の皆さんにお知らせするために、平成16年10月1日に開設し、随時内容を更新してきました。

7 その他の調査研究

〈例規調製業務〉 協議会の決定方針に基づき、例規原案を作成するため、例規調製業務委託契約を締結し、例規1次原案を作成しました。

報告第25号 渋川地区市町村合併協議会平成16年度歳入歳出決算

平成16年度の渋川地区市町村合併協議会歳入歳出決算を報告し、監査委員から監査報告が行われ、承認されました。

歳入総額	12,901,543円
歳出総額	11,177,960円
歳入歳出差引残高	1,723,583円

歳入 (単位：円)

款	予算額	収入済額	説明
負担金	12,724,000	12,724,000	市町村負担金
諸収入	178,000	177,543	任意協議会残余金等
歳入合計	12,902,000	12,901,543	

歳出

款	項	予算額	歳出済額	説明
協議会費		5,756,000	4,522,715	
	協議会運営費	5,756,000	4,522,715	会議録作成、通信運搬費等
事業費		6,846,000	6,655,245	
	広報費	2,651,000	2,460,495	印刷製本費
	調査研究費	4,195,000	4,194,750	新市建設計画策定業務等
予備費		300,000	0	
	予備費	300,000	0	
歳出合計		12,902,000	11,177,960	

報告第26号 協議項目24-19「公共下水道等の取扱い」について

平成16年9月24日開催の第1回合併協議会において決定された「公共下水道等の取扱い」の調整方針について、引き続き検討を行った結果を報告しました。

下水道使用料について

調整方針	2 下水道使用料については、渋川市の例による。ただし、伊香保町については、5年間で段階的に調整する。
調整結果	2 伊香保町の下水道使用料は、初年度、3年度、5年度の3段階で調整する。

【調整理由】伊香保町については、温泉地としての特殊な事情や料金格差が大きいため、5年間で毎年料金改定を実施するより、改定率も約20%台で収められ、住民等に与える影響を考慮し、3段階に分けて料金改定をする。また、〈温泉用〉については、伊香保温泉の特殊な事情から、料金体系の用途区分に追加する。

伊香保町年度別下水道使用料

区分	使用料	平成18年度	平成20年度	平成22年度	
〈一般用〉	基本料金	8㎡まで	480円	550円	660円
	従量料金 (1㎡につき)	8㎡を超え40㎡まで	60円	80円	105円
		40㎡を超え100㎡まで	90円	102円	118円
	101㎡以上	100円	113円	131円	
〈温泉用〉	1㎡につき		12円	13円	14円

合併浄化槽設置整備事業補助制度について

調整方針	5 水洗便所改造資金貸付制度等は渋川市の例により統一し、合併浄化槽設置整備事業補助制度については、渋川市、伊香保町、赤城村及び北橋村の例による。
調整結果	5 合併浄化槽設置整備事業補助制度については、渋川市の例により合併時に統合する。

【調整理由】下水道等整備区域以外の良好な住環境の維持及び公共用水域の水質保全確保の面から当該補助制度は必要であり、補助対象基数の大多数を占める渋川市の制度に合わせる事が財政状況等を考慮した場合、将来的に妥当である。

報告第27号 新市の市章選定小委員会報告

平成17年5月20日開催の第1回新市の市章選定小委員会において、次のとおり委員長及び副委員長を選任しましたが、委員長については、渋川市議会選出委員の変更により、平成17年5月26日から不在となりました。

また、市章デザイン募集要項及び選定方法も決定しました。

職名	氏名	所属市町村
委員長	新井 晟久	渋川市
副委員長	大澤 歳男	伊香保町

